



社団法人日本フードサービス協会

# JF ニュースレター

《 新型インフルエンザ対策第一報 》

2009. 4. 27

## 海外で豚インフルエンザが急拡大 風評被害が拡がらないよう 冷静な対応を

メキシコや米国等で豚インフルエンザ感染者が続出しています。豚インフルエンザは、症状が軽微であり、速やかに終息することから、家畜伝染病予防法の対象となっておらず、通常人には感染しないとされてきました。しかし、メキシコでは既に103人の死者が出たほか、米国の事例については、米国疾病予防管理センター（CDC）によれば、ヒトからヒトへの感染例と確認されています。こうした事態を受け、世界保健機構（WHO）では、「国際的な公衆衛生上の緊急事態」と認定しました。日本でも、4月26日豚インフルエンザ対策に関する緊急会議が開かれ、空港などでの検疫態勢を強化するなど水際対策を徹底し、日本国内での感染防止万全を期すと発表されたところです。

農林水産省やCDCでは、中心温度71℃での調理により他の細菌やウイルスと同様豚インフルエンザウイルスは死滅する、適切に扱われ調理された豚肉製品を食べても安全であると発表しています。豚肉を食べることによって、人が豚インフルエンザに感染することはありませんので、冷静な対応が求められます。

協会では、既に平成18年3月に新型インフルエンザが日本国内においても発生する危険性を認識し、リスクマネジメントの視点から「外食産業のための新型インフルエンザ対策行動計画」を作成、配付したところです。正確な情報の把握に努めるとともに、事態の推移によっては行動計画に基づく措置を実施するための準備を進める必要があります。

今後、豚肉を食材として使用している商品やメニューに対して、お客様からの原材料等について問い合わせが多くなると思われますが、豚肉を食べても豚インフルエンザに感染することはないことを説明して、不安が拡がらないように努めていただきたいと思います。

本日、農林水産省及び厚生労働省より、別添の文書が送付されてきましたので添付致します。ご参照下さい。

平成 21 年 4 月 26 日  
厚生労働省

## 豚インフルエンザについて

### 1. 経緯

平成 21 年 4 月 23 日に米国疾病管理センター(CDC)は、米国内において豚由来H1N1のA型インフルエンザウイルスの人への感染事例を報告した。一方、同日にカナダ政府からは、メキシコにおいて重篤度の高い呼吸器疾患の患者が多数発生しているとの報告があった。

平成 21 年 4 月 24 日現在、CDC は米国内で 8 例の患者の発生を報告している。また、WHO の情報では、メキシコで 59 例の死亡例を含む 854 例のインフルエンザ様症状の患者が発生し、このうち 18 例はブタ由来H1N1のA型インフルエンザウイルスであることが確認され、12 検体については米国で報告されているブタ由来インフルエンザウイルスと遺伝学的に同一と報告されている。

平成 21 年 4 月 25 日に WHO は緊急会議を開催し、現状では人から人への感染が確認された場合に出す「フェーズ4」の宣言はされていない。

### 2. 厚生労働省の対応状況

当省として以下の対応を実施。

#### (1) 情報の収集と提供

健康局に情報共有連絡室を立ち上げ、WHO 等からの情報を収集し、収集された情報については迅速に提供するとともに、公表情報を都道府県担当者に情報提供。

#### (2) 流行地に渡航される方への注意喚起

検疫所において、流行地に渡航する方に広報資料等で注意喚起。

#### (3) 流行地から帰国される方への対応

検疫所において発熱されている方をサーモグラフィーにより確認。メキシコからの帰国者に対して、インフルエンザ様症状がある場合には検疫所

に申し出るよう呼びかけ。発熱・咳などの急性呼吸器症状を有する方には健康相談室において診察を実施。

(4) 医療関係者への情報提供

各自治体を通じ、医療機関に対し、治療方法等の情報を提供

(5) 電話相談窓口の設置

平成 21 年 4 月 25 日から当省において一般の方からの電話相談窓口を開設。

対応時間: 25日	午後16時～午後9時
26日	午前9時～午後9時
27日以降	追って決定
電話番号:	03-3501-9031

なお、4月25日16時から21時までの相談件数は408件であり、流行地や渡航に関する質問の他、豚肉の安全性、政府の対応、医療等に関する質問が多く寄せられたところ。

### 3. 今後の対応

厚生労働省としては、メキシコからの帰国者のうち、症状の無い方に対して、本人の同意の下で、自治体の協力を得ながら、一定期間健康状態を確認するなどの対応を行うとともに、国内の感染症サーベイランスの強化について検討する。

今後とも、WHO等の実施している現地調査等の海外情報を収集し、WHOの緊急会議での今後の議論も踏まえ、引き続き対応していく。

(参考 1)

メキシコ及び米国におけるインフルエンザ様疾患の発生状況について  
WHOホームページ  
(仮訳)

2009年4月24日

米国政府は7人の豚インフルエンザ (H1N1) 確定症例 (5人はカリフォルニア在住、2人はテキサス在住) と9人の疑似症例を報告した。確定症例7人のうち、1人は短期間の入院を要したものの全員軽度のインフルエンザ様疾患であり、死亡例の報告はない。

メキシコ政府は3つの異なった事例を報告している。メキシコ連邦において、サーベイランスにより、3月18日からインフルエンザ様疾患が捕捉され始めた。4月を通してその数は着実に増加し、4月23日までに、首都圏から854人以上の肺炎患者が発生されている。そのうち、59人は死亡している。メキシコ中部のSan Luis Potosiから24人 (うち3人死亡) が報告されている。米国との境界にあるMexicaliからは、4人 (死亡者なし) が報告されている。

メキシコの例では、18人がカナダにおいて豚インフルエンザ (H1N1亜型) と確認されており、そのうち12人はカリフォルニアの豚インフルエンザ (H1N1亜型) と類似性が認められた。

これらの大多数は、若年健康人において発症している。インフルエンザは通常、幼児か高齢者が罹患するが、メキシコにおいては、これらの年齢層では特に重大な影響が見られなかった。

動物のインフルエンザウイルスに人が感染した症例であること、地理的に離れた場所で流行が広がっていること、通常みられない年齢層が罹患していること、等からこれらの事例は非常に危惧される事例である。

今回の流行でみられた豚インフルエンザウイルス (H1N1亜型) はこれまでに豚や人で検出されたことがない。このウイルスは今のところ、オセルタミビルには感受性を示すが、アマンタジン及びリマンタジンには耐性である。

WHOはこのインフルエンザ様疾患のリスクをより理解するために米国、メキシコ及びカナダの保健当局と密接に連携している。WHO (とPAHO) は当地の保健当局と作業を行うために専門家をメキシコへ派遣している。WHOは加盟国の疫学調査、検査診断や臨床管理の強化を支援している。GOARNのWHOのパートナーは、加盟国からの要請に応じて支援する用意がある。

これは仮訳です。かならず、原本をご確認ください。  
[http://www.who.int/csr/don/2009\\_04\\_24/en/index.html](http://www.who.int/csr/don/2009_04_24/en/index.html)

## 豚インフルエンザについて

### 1. 疫学等

豚インフルエンザは、A型インフルエンザウイルス（豚インフルエンザウイルス）の感染により、通常、豚にインフルエンザを引き起こすが、死亡率は低い。発生は、一年を通して起こりうるが、人の発生と同様、晩秋から冬の期間に多い。

豚インフルエンザで認められるA型ウイルスのタイプは、H1N1亜型、H3N2亜型等が主要なものである。ヒトで通常のインフルエンザを引き起こすH1N1亜型等のウイルスがあるが、異なる株である。

### 2. 人への感染

#### (1) 感染経路

通常、人に感染しないが、豚と直接接触した場合に散発的に感染することがある。

人から人に感染した例の報告もあるが、これまで集団発生には至っていない。

※：米国CDCには、2005年12月から2009年2月までで12例の報告あり

#### (2) 症状

通常のインフルエンザの症状に類似し、発熱、脱力、食欲不振、発咳などがみられる。鼻汁、咽頭痛、吐き気、下痢がみられることがある。

#### (3) 診断

発症後4～5日以内に上気道からの検体を採取して実施する。

豚インフルエンザウイルスであることは、遺伝子検査等で確認する。

#### (4) 治療

抗インフルエンザ薬の投与（今回米国で検出されたウイルスでは、オセルタミビルやザナミビルの投与が推奨されている）

※：アマンタジンやリマンタジンへの耐性が認められている。

#### (5) 予防

現在、ヒト用のワクチンはない。

## ○人における豚インフルエンザ

### 豚インフルエンザは人に感染しますか？

豚インフルエンザウイルスは通常、人には感染しません。しかし、散発的には豚インフルエンザの人への感染が発生しています。最も多い人への感染事例としては、豚に直接接触した場合に発生しています。例えば、フェアで子供が豚に触ったり、豚肉を加工する職場で職人が豚に触れるといったケースです。また、1人の感染者から他の人に豚インフルエンザが広がった事例も報告されています。例えば、1988年にウィスコンシン州で豚の間で広がった感染が複数の人にも及びました。このときはコミュニティでの集団感染はありませんでしたが、患者から感染したことを証明する抗体が、患者と密接に接触した医療従事者から確認されました。

### 豚インフルエンザの人への感染は頻繁に起こるのですか？

過去の記録によれば、米国疾病管理センター（CDC）は、米国において1～2年に1例の発生報告を受けています。ただ、2005年12月から2009年2月にかけては、12の人への感染事例が報告されています。

### 豚インフルエンザの人に現れる症状は何ですか？

季節性のインフルエンザの症状に似た症状がでることが予想され、また熱、倦怠感、食欲不振、咳が含まれます。また、鼻水、のどの痛み、吐き気、嘔吐や下痢などの症状を発する人もいます。

### 豚を食べると感染しますか？

いいえ。豚インフルエンザは、豚肉や豚肉の加工品を食べることによって感染するものではありません。適切に扱われ、調理された豚肉製品を食べても安全です。中心温度71℃での豚肉の調理により、他の細菌やウイルスと同様、豚インフルエンザウイルスは死滅します。

これは仮訳です。かならず、原本をご確認ください。  
[http://www.cdc.gov/flu/swine/key\\_facts.htm](http://www.cdc.gov/flu/swine/key_facts.htm)

豚インフルエンザの集団発生の例は他にありますか？

おそらく、最もよく知られているのは、1976年にニュージャージー州・フォートディクスで起きた、兵士たちの間で流行した事例です。X線検査でウイルス感染からの肺炎が確認され、少なくとも4人の兵士にウイルス性肺炎を認め、1名が死亡しました。この5人とも感染前は健康でした。基地での訓練中に密接に接触したグループ内で感染したものと考えられています。このウイルスは約1か月間まん延し、その後、消滅したと思われます。ウイルスの由来や、フォートディクスへ侵入した正確な時期、および感染拡大の要因とその流行期間についてはよく解っていません。このフォートディクスでの集団発生は、冬の間人口が集中する施設内に動物由来のウイルスが侵入したことだったかもしれませんが。フォートディクスの兵士から収集された豚インフルエンザA型ウイルスはA/New Jersey/76 ( Hsw1N1 ) と名付けられました。

豚インフルエンザウイルス ( H 1 N 1 亜型 ) はヒトの H 1 N 1 亜型ウイルスと同じですか？

違います。H 1 N 1 亜型の豚インフルエンザウイルスは、人の H 1 N 1 亜型のウイルスと抗原性が大きく異なっています。ですから、季節性インフルエンザワクチンが、豚インフルエンザウイルスの感染を防止することはできません。

## ○豚における豚インフルエンザ

どのように豚の間で豚インフルエンザの感染が広がりますか？

豚インフルエンザウイルスは、ほとんどの場合、豚と豚との間における密接な接触を通じて感染が拡大します。また、感染した豚と感染していない豚との間では、汚染物を介して感染が広がる可能性も考えられます。豚インフルエンザに感染している群とワクチン接種を行っている群は、散発的に症状を発生させることもありますし、軽い症状か、あるいは症状を示さない感染を起こすこともあります。

これは仮訳です。かならず、原本をご確認ください。  
[http://www.cdc.gov/flu/swine/key\\_facts.htm](http://www.cdc.gov/flu/swine/key_facts.htm)